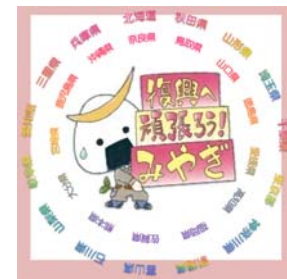


宮城県土木部 復興だより

復旧・復興の最新ニュースをお届けします！
 <平成24年4月～5月30日現在>



全体・防災

- 5月26日：「津波防災シンポジウム」開催
 「歴史が伝える津波、歴史にしていづく津波」をテーマに県庁2階講堂にて開催しました。
 ～基調講演～
 ○千葉工業 大学惑星探査研究センター
 上席研究員 後藤 和久 氏（東北大学客員准教授）
 ○東北大学 災害科学国際研究所
 教授 越村 俊一 氏

道路

- 4月6日：三陸沿岸道路仙塩道路4車線化着工式開催
 仙塩道路は、東北縦貫自動車道、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路と一体となって、仙台都市圏の経済・産業基盤を支える道路となります。



- 5月22日：「第1回宮城県復興道路連絡調整会議」開催
 復興道路・復興支援道路である三陸沿岸道路と宮城県北高速幹線道路の早期完成を図るため、関係機関が連携して、各種協議を円滑に進め、様々な課題に即対応していくために具体的な調整を行います。
 ○構成員組織一覧

東北地方整備局	仙台河川国道事務所
宮城県	農林水産部
	環境生活部
	教育庁
	土木部
宮城県道路公社	建設部
沿岸関係市町村	



- 5月31日：「国道113号館矢間バイパス開通式」開催予定
 阿武隈川を渡る「丸森大橋」を含む全線2.8kmの開通により、山形・宮城・福島を東西に結ぶ交通軸が強化されます。



空港

- 4月1日：中国南方航空により、震災後、初となる仙台-長春線のチャーター便が運航
- 4月29日：「仙台空港臨空公園」がオープン



- 5月2日：タイ国際航空により、震災後、初となる仙台-バンコク線のチャーター便が運航
 タイ国際航空による仙台-バンコク線のチャーター便は、平成20年5月以来、約4年ぶりの運航となりました。



- 5月21日：仙台-ソウル線のデイリー運航再開
 アシアナ航空の仙台-ソウル線は、昨年9月に週3往復の定期便で再開されておりましたが5月21日（月）からは、震災前と同じ毎日1日往復の運航となりました。

～運行スケジュール～

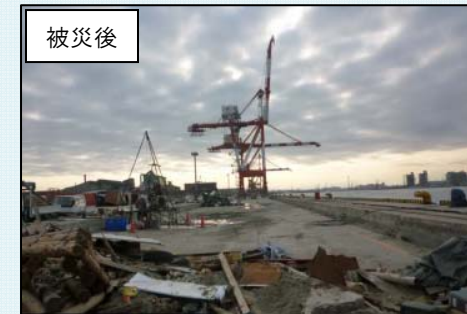
仙台-ソウル線				
5月21日より毎日1往復				
仙台	13:30	ソウル	10:20	仙台
	-		-	
	16:00		12:30	



- 今後の国際定期路線の増便等について
 - 【運航再開(予定)】
 仙台～長春線(中国南方航空) <7月30日(月)より再開>
 ※震災前は週2便(月、火曜)で運航
 - 【新規就航(予定)】
 仙台～上海線(中国東方航空) <平成24年度中>

港湾

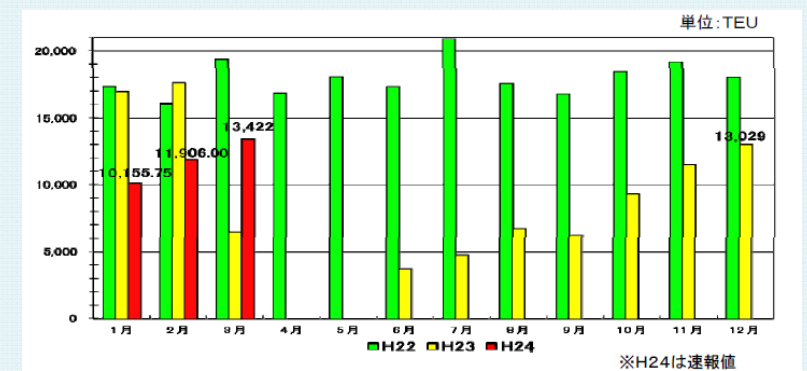
- 4月28日：高砂コンテナターミナルガントリークレーン3号機の供用再開
 ガントリークレーン全4基のうち3基まではすでに共用を開始していました。3号機の稼働でガントリークレーンは完全復旧し、複数の船舶が同時に着岸する場合などに、より効率的な荷役が可能となりました。



- 5月17日：「中国/韓国航路」(外資定期コンテナ航路)が新たに1便就航
 震災前と同じく週2便となりました。また、外資コンテナ航路は、北米航路、韓国航路(釜山港)とあわせて、4航路週4便となり、ほぼ震災前の水準に回復しました。



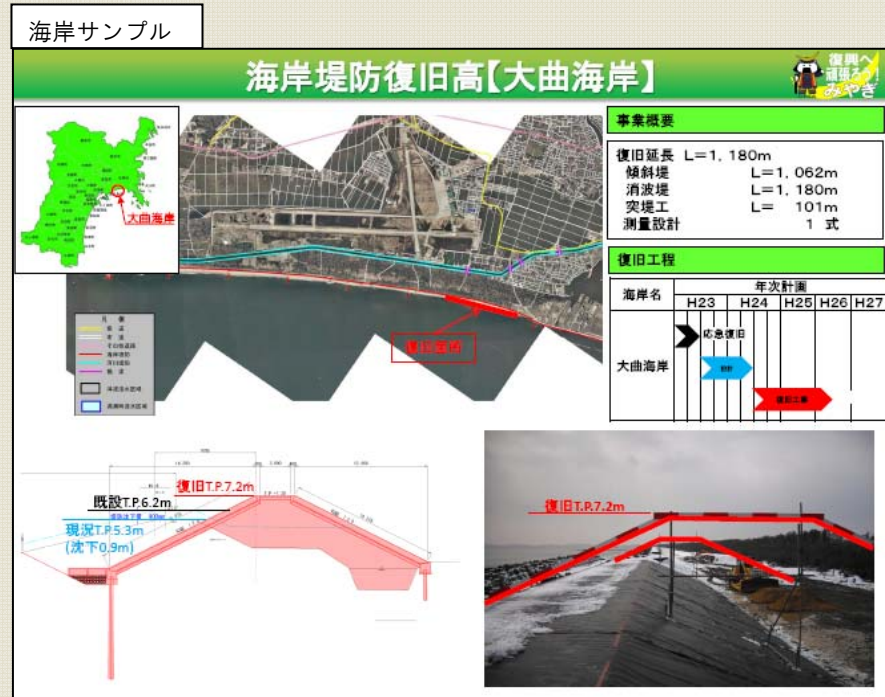
- 6月1日：「宮城県港湾復興大会」開催予定
 港湾の早期復興を図るため県内港湾関係者が結集して、県内の地区要望を集約し、港湾の整備に係る要望活動を行います。
- 6月4日：「石巻港岸壁の災害復旧工事着工式」開催予定
 工事の完成により港湾の安全が確保され、石巻港に立地する企業・広域石巻圏内の復興に寄与するものと期待しています。
- その他：平成24年1月～3月のコンテナ貨物取扱量は、震災前の平成22年1月～3月と比較すると約67%程度となりました。今後、積極的にポートセールス活動を展開し、平成25年には震災前の貨物量を取り戻すよう取り組んでいきます。



コンテナ取扱量の推移

河川・海岸

- 5月17日：河川・海岸の復旧高さや復旧スケジュールを公開
見える復旧・復興を念頭に、津波被害箇所について、復旧方法や具体的な位置・堤防高さ、復旧スケジュール、完成後のイメージ図を公開しました。（詳細は公式HP http://www.pref.miyagi.jp/kasen/higashinohon_fukkyu.html をご覧ください）



- 6月7日：「菖蒲田海岸災害復旧工事着工式」開催
宮城郡七ヶ浜町の菖蒲田海岸において災害復旧工事に着手致します。

公園・都市施設・下水

- 4月1日：加瀬沼公園が再開園
宮城県総合運動公園はすでに通常開園していますが、他の県立都市公園(仙台港多賀城地区緩衝緑地、矢本海浜緑地、岩沼海浜緑地)は、災害廃棄物の仮置き場としており、撤去が完了次第、災害復旧に着手する予定です。



- 4月8日：「仙石線多賀城地区連続立体交差事業高架切換記念式典」開催
JR仙石線多賀城駅周辺は、仙石線の踏切による交通渋滞や中心市街地の分断が、まちの発展に大きな障害となっていました。今回、下り線の高架切換を行うことで、4箇所の踏切遮断が解消され、多賀城駅周辺のスムーズな交通の流れが確保されるようになります。



- 4月25日：「仙塩浄化センター下水処理開始式」開催
仙塩浄化センターの復旧は、STEP3「水質改善期Ⅱ」に移行しました。これにより、生物処理が可能となり、震災前の50%の能力まで復旧しました。



- 5月23日：県南浄化センター「第3系列水処理」開始
段階的な復旧を進め、水処理全体の3分の2が復旧しました。



住宅・建築・まちづくり

- 4月4日：災害公営住宅の整備戸数の見直し
整備戸数：約12,000戸(17市町)を約15,000戸(21市町)に見直しました。

【参考】整備状況(事業着手したもの 5月28日現在)

市町名	計画戸数	入居予定年度	整備手法
仙台市	607戸	H25	直接建設・買い取り
石巻市	250戸	H26	直接建設(県委託)
塩竈市	80戸	H25	買い取り(UR)
多賀城市	150戸	H25	買い取り(UR)
東松島市	20戸	H25	直接建設(県委託)
亘理町	100戸	H26	直接建設(県委託)
山元町	110戸	H25	直接建設(県委託)
女川町	200戸	H25	買い取り(UR)
南三陸町	80戸	H25	買い取り(UR)
9市町	計		
18地区	1,597戸		

- 4月24日：「災害に強いまちづくり宮城モデル」構築推進連絡調整会議を開催
沿岸被災地域における災害に強いまちづくりの実現に向けて、県及び被災市町が相互に問題意識を共有し、復興を進めていくことを目的に、県の取り組み状況を説明するとともに市町の課題や懸案について、県及び市町が相互に情報を共有していきます。

- 5月22日：復興まちづくり事業の着手【宮城県内第1号】
「岩沼市復興整備協議会」協議会にて、都市計画法に基づき開発が許可され、宮城県内第1号の復興まちづくり事業着手となりました。

- 5月22日：「気仙沼、東松島市復興整備協議会」開催
防災集団移転促進事業と、東松島市の土地区画整理事業を盛り込んだ復興整備計画を了承しました。5月中旬に計画を公表し、正式決定となる予定です。

○復興まちづくり事業の進捗状況

＜国交大臣同意済＞ 防災集団移転促進事業 3市 19地区	＜事業区域都市計画決定＞ 被災市街地復興土地区画整理事業 4市町 4地区
------------------------------------	--

- 6月8日：みやぎ復興住宅整備推進会議を設置します
関係機関・団体等が住宅・まちづくりに関する情報の交換・共有を図り、県民の皆様と全国に情報を発信していきます。

○記事に関する問い合わせ○
 宮城県土木部土木総務課企画調整班
 H P : <http://www.pref.miyagi.jp/dobokusom/>
 T E L : 022-211-3108 E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.jp